

# 選挙公告

一般社団法人日本生物物理学会定款および細則に基づき A.2027・28 年度会長候補意向聴取選挙, B. 2027・28 年度代議員選挙を行います. 下記の「選挙要項」をご精読の上, 期日までにご投票ください.

## 記

2027・28 年度会長候補意向聴取選挙および 2027・28 年度代議員選挙

投票期間:2026 年 5 月 25 日(月)~6 月 12 日(金)正午(日本時間)

### 選挙要項

- (1) 本選挙は, WEB 上に特設された選挙システムを利用して投票する.
- (2) 本選挙の選挙権者は, 本年 5 月 6 日現在における本学会正会員で学会会費を完納しているものとする(細則第十二条).
- (3) 学会会員ページ上の特設 WEB サイトに表示された被選挙者の中から, 適当と思われる候補者を選出し, 投票する. ただし, 一度投票した内容を変更することはできない.
- (4) 投票期間外での投票は無効とする.
- (5) 開票は, 公開により 6 月 12 日(金)午後 1 時より学会事務局において行う. 投票内容に不備がある場合を除き, 開票の際投票者個人が特定されることはない.

### A. 2027・28 年度 会長候補意向聴取選挙要項

会長候補意向聴取選挙の手順について, 細則第十三条に定められています.

第十三条 会長候補者は, 代議員から推薦された候補者の中から理事会の決議によって 3 名選出される.

- 2 選挙管理委員会は, 各候補者の略歴や本会との関わりについて正会員に周知し, 意向聴取選挙を行なうことができる.
- 3 臨時社員総会にて, 得票数の一番多い会長候補者を理事候補として代議員が選出する.

本年 2 月 12 日から 2 月 26 日までの期間で代議員による会長候補者推薦を実施し, 推薦された候補者について, 4 月 18 日の理事会で審議・投票を行い, 3 名の候補者を選出しました. 会長候補としてふさわしいと思われる候補者に投票してください.

(A1) 会長候補者(会員番号順)

須藤 雄気(岡山大学学術研究院医歯薬学域)

飯野 亮太(自然科学研究機構 分子科学研究所)

高田 彰二(京都大学理学研究科生物物理学教室)

(A2) 本選挙は選挙要項に従って行なう.

(A3) 上記 3 名の会長候補者の中から会長として適当と思われる候補者を 1 名選び特設 WEB サイトから投票する.

(A4) 開票の結果により, 最高得票者を会長候補とする. 最高得票者が 2 名以上である場合は, その者について改めて選挙を行う.

(A5) この選挙により選出された会長候補は, 2026 年 9~11 月に開催される臨時社員総会で理事候補

として付議される。

(A6) 会長候補者略歴(会員番号順)

## 2027・28 会長候補 略歴

### 1. 須藤 雄気

【現 職】：岡山大学 学術研究院医歯薬学域(薬学系) 教授

【生年月日】：1977年10月29日

【学 歴】：

2000年 北海道大学 薬学部総合薬学科卒業

2005年 北海道大学 大学院薬学研究科博士課程修了

(\*2002年-2003年:奈良先端科学技術大学院大学 バイオサイエンス研究科 特別研究学生)

【職 歴】：

2005年 名古屋工業大学 大学院工学研究科 博士研究員

2005年 テキサス大学ヒューストン医療科学センター ポスドク

2007年 名古屋大学 大学院理学研究科 生命理学専攻 助教

2009年 名古屋大学 大学院理学研究科 生命理学専攻 准教授

2014年 岡山大学 学術研究院医歯薬学域(旧大学院医歯薬学総合研究科)(薬学系) 教授

【専門分野】：

「光をくすりへ!」のキャッチフレーズのもと、光受容タンパク質「ロドプシン」の生物物理化学的研究とそれらに基づく生命機能の光操作研究を行っています。

【生物物理学会とのかかわり】：

2000年の入会と第38回仙台年会での口頭発表がきっかけです。ここで、教室外の窓越しからある方に質問され、また、別の方から発表後に「オモロイ」と言って頂いたことで、生物物理学会に骨を埋めることを決めました。以来、会員として上記の方々の振る舞いを参考に(?)、運営委員/理事(2011-2014, 2017-2020, 2023-2024)、年会副実行委員長(2018:岡山)、中国四国支部長(2019-2020)、副会長(2019-2020)、BPPB 誌副編集委員長(2022-2025)、生物物理誌副編集委員長(2026-現在)として活動してきました。したがって、本学会は私の研究者人生の全てです。

### 2. 飯野 亮太

【現 職】：自然科学研究機構 分子科学研究所 教授 総合研究大学院大学 先端学術院 教授

【生年月日】：1972年2月14日

【学 歴】：

1995年 京都大学工学部 高分子化学科 卒業

1997年 京都大学大学院工学研究科 合成・生物化学専攻 修士課程修了

2000年 名古屋大学大学院理学研究科 生命理学専攻 博士後期課程 単位取得退学

2003年 博士(理学)(名古屋大学)

【職 歴】：

2000年 科学技術振興事業団 ERATO 楠見膜組織能プロジェクト 研究員

2002年 科学技術振興機構 ERATO 吉田 ATP システムプロジェクト 研究員  
2005年 大阪大学産業科学研究所 特任助手  
2006年 大阪大学産業科学研究所 助手、助教(2007年 職名変更)  
2011年 東京大学大学院工学系研究科 応用化学専攻 講師  
2013年 東京大学大学院工学系研究科 応用化学専攻 准教授  
2014年 自然科学研究機構 分子科学研究所 生命・錯体分子科学研究領域 教授  
2014年 自然科学研究機構 岡崎統合バイオサイエンスセンター 教授(～2018年)  
2014年 総合研究大学院大学 物理科学研究科 機能分子科学専攻 教授(～2023年)  
2018年 自然科学研究機構 分子科学研究所 生命・錯体分子科学研究領域 研究主幹  
2018年 自然科学研究機構 国際連携研究センター 教授(～2023年)  
2018年 名古屋大学大学院理学研究科 客員教授(～2019年)  
2023年 自然科学研究機構 共創戦略統括本部 教授  
2023年 総合研究大学院大学 先端学術院 先端学術専攻 教授

**【専門分野】:**

分子モーター、1分子計測、光学顕微鏡、タンパク質工学、DNA ナノテクノロジー。分子モーターの動きや形を調べる、分子モーターを創る、といったアプローチでその作動原理や設計原理を理解し、天然分子を凌駕する高性能・高機能分子モーター(システム)の開発につなげたいと考えています。

**【生物物理学会とのかかわり】:**

生物物理学会には化学専攻の修士課程学生だった 1995 年に入会しました。光学顕微鏡1分子イメージングに衝撃を受け博士課程で専門を生物物理学に変更して以来、30 年以上お世話になっています。学会運営との関りとしては、分野別専門委員(2014, 2020, 2026 モータータンパク質、2016 タンパク質工学)、邦文誌「生物物理」編集委員(2014-2015)、中部支部長(2019-2021)、理事(2019-2023, 2025-現在)、ウェブサイト編集委員長(2021-2022)、第 61 回名古屋年会実行委員プログラム担当(2023)、欧文誌「Biophysics and Physicobiology」編集委員(2024-2025)、副会長(2025-現在)、第 64 回韓国釜山年会実行委員(2026)を務めさせて頂いております。生物物理学会は常に私の研究活動の中心であり、楽しくワクワクする場所であり続けています。

### 3. 高田 彰二

**【現 職】:**京都大学大学院理学研究科 教授

**【生年月日】:**1965年9月10日

**【学 歴】:**

1988年 京都大学理学部卒

1990年 京都大学大学院理学研究科化学専攻修士課程修了

総合研究大学院大学博士(理学)

**【職 歴】:**

1991年 岡崎国立共同研究機構技官(分子科学研究所)

1995年 日本学術振興会海外特別研究員(イリノイ大学化学科)

1997年 日本学術振興会特別研究員

1998年 神戸大学理学部化学科講師

2001年 神戸大学理学部化学科助教授

2007年 京都大学理学研究科生物科学専攻生物物理学教室准教授

2013年 京都大学理学研究科生物科学専攻生物物理学教室教授

【専門分野】:

計算生物物理学、特に生体分子シミュレーション。これまで主にタンパク質のフォールディング問題、分子モーター等生体分子機械の作動原理、およびクロマチン構造と転写制御に着目して計算科学的に研究してきました。

【生物物理学会とのかわり】:

生物物理学分野の研究を始めたポストドク時代に入会し、それ以来約30年、私にとって中心的な学会です。2010-2011年・2012-2013年運営委員、2015-2016理事、2017-2018年副会長、2019・2020・2021・2022・2023年分野別専門委員、2021-2022年代議員、2025年第63回年会会長(奈良)。

## B. 2027・28年度 代議員選挙要項

代議員は、正会員3名以上からの推薦、支部・若手の会からの推薦、分野別専門委員からの推薦により選出された候補者の中から正会員の投票によって決定いたします。

本年4月8日から4月21日までの期間で実施した代議員候補者推薦の結果、推薦された方は431名、その内候補者となった方は119名でした。以下の代議員候補者の中から、適当と思われる候補者(10名以内)に投票してください。

(B1) 代議員候補者(50音順)

相沢 智康(北海道大)	青木 一洋(京都大)	阿部 一啓(北海道大)
新井 敏(金沢大)	新井 宗仁(東京大)	有賀 隆行(大阪大)
飯野 亮太(分子研)	池口 雅道(創価大)	池口 満徳(横浜市立大)
井上 豪(大阪大)	井上 雅世(九州工業大)	今村 比呂志(富山県立大)
今村 博臣(山口大)	岩城 光宏(NICT)	上田 昌宏(大阪大)
上野 博史(東京大)	内橋 貴之(名古屋大)	大上 雅史(東京科学大)
太田 善浩(東京農工大)	岡田 康志(理研)	奥村 正樹(東北大)
苮口 友隆(慶應義塾大)	角五 彰(京都大)	片山 耕大(名古屋工業大)
加藤 貴之(大阪大)	加藤 英明(東京大)	鎌形 清人(岐阜大)
上久保 裕生(奈良先端科学技術大)	川又 生吹(京都大)	川本 晃大(大阪大)
木賀 大介(早稲田大)	菊川 峰志(北海道大)	喜多 俊介(北海道大)
木下 賢吾(東北大)	黒田 裕(東京農工大)	古賀 信康(大阪大)
小嶋 誠司(名古屋大)	小杉 貴洋(金沢大)	小林 徹也(東京大)
小松崎 民樹(北海道大)	近藤 徹(NIBB)	紺野 宏記(金沢大)
佐甲 靖志(理研)	佐藤 佑介(九州工業大)	澤井 哲(東京大)
信夫 愛(大阪大)	柴田 幹大(金沢大)	柴田 穰(東北大)
菅瀬 謙治(京都大)	杉田 有治(理研)	鈴木 健一(岐阜大)

鈴木 団(大阪大)	角野 歩(京都大)	高田 彰二(京都大)
鷹野 優(広島市立大)	高橋 大地(岡山大)	高橋 浩(群馬大)
瀧ノ上 正浩(東京科学大)	田口 英樹(東京科学大)	田中 良和(東北大)
玉井 伸岳(徳島大)	千見寺 浄慈(名古屋大)	塚本 卓(北海道大)
塚本 寿夫(神戸大)	角田 聡(名古屋工業大)	寺川 剛(京都大)
寺北 明久(大阪公立大)	寺田 透(東京大)	富永 貴志(徳島文理大)
永井 健治(大阪大)	中曽根 祐介(京都大)	永田 崇*(東京大)
中根 大介(電気通信大)	中林 孝和(東北大)	中村 彰彦(静岡大)
中村 秀樹(京都大)	南後 恵理子(東北大)	新津 藍(理研)
西原 諒(産総研)	沼本 修孝(岡山大)	濡木 理(東京大)
野地 博行(東京大)	野村 慎一郎(東北大)	林 久美子(東京大)
林 重彦(京都大)	原田 隆平(筑波大)	坂内 博子(早稲田大)
廣島 通夫(大阪大)	深井 周也(京都大)	福岡 創(大阪大)
藤原 郁子(長岡技術科学大)	藤原 祐一郎(広島大)	船津 高志(広島大)
古田 健也(NICT)	古谷 祐詞(名古屋工業大)	前島 一博(遺伝研)
牧 功一郎(京都大)	政池 知子(東京理科大)	松浦 友亮(東京工業大)
水内 良(早稲田大)	水谷 雅希(学習院大)	水野 操(京都大)
光武 亜代理(明治大)	村田 武士(千葉大)	森 俊文(京都大)
森本 雄祐(九州工業大)	森脇 由隆(東京科学大)	矢島 潤一郎(東京大)
谷中 冴子(東京科学大)	柳川 正隆(京都大)	柳澤 実穂(東京大)
山下 敦子(大阪大)	山下 高廣(京都大)	山城 佐和子(京都大)
横山 武司(北海道大)	吉村 成弘(京都大)	若林 憲一(京都産業大)
渡邊 朋信(理研)	渡邊 力也(理研)	

(B2) 本選挙は選挙要項に従って行なう。

(B3) 上記119名の候補者の中から、代議員として適当と思われる候補者(10名以内)を選び、特設WEBサイトから投票する。

(B4) 開票の結果により、得票順に定数(50名以上55名以内)だけを当選とする。会費滞納者が当選した場合は、学会の請求により直ちに滞納分の支払いがある場合に限りこれを有効とする。

また、最下位が同点の場合は抽選により順位を決定する。

(B5) この選挙により選出された委員の任期は2027年度より2年間である。

(B6) 2027・28年度理事は、定款第五条4に基づき、本選挙の投票権を付与されないものとする。

以上

2026年5月25日  
 一般社団法人 日本生物物理学会  
 選挙管理委員長 小松崎 民樹